

令和8年度 事業計画書

事業局課	道路・交通政策局	交通政策課				新規拡充	■ 新規 □ 拡充		事業評価書番号		
歳出予算科目	一般会計	12	款	1	項	2	目	政策群番号	09	施策群番号	20
事業名称	横浜市自動運転社会実装推進事業					9月補正予算					

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
補正後	397,713	397,713	0	0	0	0
補正前	0	0	0	0	0	0
増▲減	397,713	397,713	0	0	0	0

事業概要 (アクティビティ)		国土交通省の令和8年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）を活用し、市内における自動運転社会実装推進事業を新たに実施します。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
実証実験実施箇所	単位	目標			1	1			
	地区	実績							
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
自動運転レベル4実装区間	単位	目標			0	1			
	ルート	実績							
事業目的		郊外部における交通空白地の解消、都心部における多様なモビリティの展開と運転士不足の解消等の課題解決策として自動運転サービスの社会実装が期待されています。 本市においても自動運転社会実装に向けて実証実験を事業者とともに推進します。							
背景・課題		運転士不足や運転士の高齢化が課題となっており、バスやタクシーといった公共交通サービスの維持が難しい状況となっています。また、交通空白地での移動手段の確保が課題となっています。							
根拠法令・方針決裁等		「令和7年度「自動運転社会実装先行的事業化地域事業」への応募について」（R8.1方針決裁）							
根拠・データ等		・横浜市将来人口推計 ・横浜市地域公共交通計画 ・市域面積における交通空白地の割合 11%							
事業スケジュール		令和8年度 多台数を運用する際の遠隔監視の体制構築と省人化を含む運用の検証 令和9年度 自動運転レベル4の実装（走行環境条件付与）							
事業開始年度		令和8年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		補正後	補正前	差引(増減)	増減説明
	1	横浜市自動運転社会実装推進事業	397,713	0	397,713	国庫補助事業採択による増
	細事業合計		397,713	0	397,713	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長				係長		
	金子 真嗣					楢 達郎	

令和8年度 事業計画書

事業局課	道路・交通政策局	維持課				新規拡充		□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	1
歳出予算科目	一般会計	13	款	1	項	3	目	政策群番号	01	施策群番号	02
事業名称	道路修繕事業							9月補正予算			

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
補正後	10,665,701	12,500	0	4,752,666	1,600,000	4,300,535
補正前	10,125,701	12,500	0	4,752,666	1,500,000	3,860,535
増▲減	540,000	0	0	0	100,000	440,000

事業概要 (アクティビティ)		昭和27年に制定された道路法の第42条に記載されている『道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もつて一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。』という理念をもとに市管理道路の維持管理を行います。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
舗装実施面積	単位	目標	540,583	503,125	462,259	507,050	507,050	507,050	507,050
	m ²	実績	566,084	600,274					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
YMI：横浜市の舗装 評価指標	単位	目標	7.58	7.58	7.58	7.58	7.58	7.58	7.58
		実績	7.40	7.37					
事業目的		【事業目的・必要性】 市管理道路のうち幹線道路では路面性状調査を行い、わだち掘れ・縦断方向の変形など損傷が著しくなっている路面の修繕工事を計画的に実施し、生活道路ではひび割れなどの老朽化が進んでいる路面の修繕工事を実施します。また、住民からの補修要望についても、順次対応する必要がある、生活の基盤をなす道路の維持管理に努めます。 【効果】 ・幹線道路→路面性状調査実施により道路損傷路面の計画的な修繕工事及び住民からの補修要望についても対応 ・生活道路→老朽化が進んでいる路面の修繕工事及び住民からの補修要望についても対応 上記により毎年度着実な道路の維持管理を実施しており、市民の安全・経済活動に貢献しています。							
背景・課題		道路は日常生活や生産活動を支える基礎的な資産であり、交通の用に供するという本来の目的を果たすために、常に良好な状態に維持管理されなければならない。							
根拠法令・方針決裁等		道路法 道路構造令							
根拠・データ等		別紙のとおり							
事業スケジュール		年度毎のスケジュールはありません。 (参考：年度スケジュール) 4月：当年度予算再配当							

(単位：千円)

細事業（事業内訳）	細事業名称		補正後	補正前	差引（増減）	増減説明
	1	道路修繕事業 単独事業	10,640,701	10,100,701	540,000	アスファルト価格の高騰に伴う工事価格の上昇による
	2	道路修繕事業 補助事業	25,000	25,000	0	
	細事業合計		10,665,701	10,125,701	540,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	橋本 健太郎	西島 主悦	

別紙

【 実績及び今後見込み 】 【 事業費の内訳 】

年 度	令和5年度（決算）	令和6年度（決算）	令和7年度（見込）	令和8年度（見込）
工 種	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
工 事 請 負 費	10,243,389	9,607,911	8,933,162	9,584,019
車 道 整 備	9,109,321	8,287,966	7,827,506	8,463,979
アスファルト/コンクリート舗装	5,886,183	5,520,828	5,222,459	5,738,290
アスファルト被覆	3,223,138	2,767,138	2,605,047	2,725,689
歩 道 整 備	369,813	420,769	325,911	348,681
路 肩 整 備	265,473	360,679	299,422	279,577
小規模補修整備	38,933	58,978	37,249	44,202
その他・雑工	459,849	479,519	443,074	447,580
委 託 料	772,400	810,022	801,000	812,000
委託料	771,859	770,460	793,520	802,000
土木防災情報システム(R6, R8はシステム改修等を含む)	541	39,562	7,480	10,000
原 材 料 費	164,791	157,605	183,000	177,000
事 務 費	62,797	70,485	92,444	92,682
合 計	11,243,377	10,646,023	10,009,606	10,665,701